



令和6年10月31日  
第十管区海上保安本部

## 新造測量船「さくらひびき」デビュー ～測量船「いそしお」32年間の任務を終える～

令和6年12月19日、新造測量船が第十管区海上保安本部に就役します。  
新造測量船の船名は、一般公募の結果、桜島を示す「さくら」と水深や潮流を調査する手法である音響を示す「ひびき」を組み合わせ、『さくらひびき』と名付けました。新造測量船は大型化により行動範囲が拡大し、より深い海域まで測定できるように強化されました。  
これまで当管区で活躍していた測量船「いそしお」は老朽化に伴い、同月3日に解役します。

### 1. 就役

- (1) 船名 さくらひびき
- (2) 就役日 令和6年12月19日(木)



全 長：27.8メートル  
総トン数：62トン  
速 力：17ノット以上  
(時速約31km以上)

### (3) 任務

海図作製のため鹿児島湾、八代海、宮崎港などの測量や海潮流の観測に従事します。

### (4) 特徴

- ①大型化したことで航続性や堪航性が向上し、行動範囲が拡大され奄美大島まで調査が可能となります。
- ②海の深さを測る音響測深機の性能を強化し、水深約3,000メートルまで測定可能となります。

③海潮流を観測する超音波式の流速計の性能を強化し、水深約500メートルまで測定可能となります。

(5) 船名由来

新造測量船の船名を一般公募した結果、応募総数が858件で「さくらひびき」が49票で一番多かったこと及び鹿児島を基地とする当本部の測量船として皆様にも愛着をもっていただける素晴らしい船名であるという点で決定いたしました。

(6) その他

広島県尾道市の(株)木曾造船で建造されており、10月23日に進水式が行われました。

## 2. 解役

(1) 船名 いそしお

(2) 解役日 令和6年12月3日(火)



全	長：21.0メートル
総	トン数：27トン
速	力：15ノット以上 (時速約26km以上)

(3) 実績

測量船「いそしお」は、平成5年3月に就役して以降、約32年間の長きにわたり、地球約8周分に相当する約31万5千kmを航海し、鹿児島湾、八代海、宮崎港などを測量し、海図作製に貢献するなど活躍してきました。

観測技術を応用し、平成19年9月に宮崎沖の海上に墜落したセスナ機の機体発見や、令和2年9月の天草市沖合における遊漁船衝突海難による沈没船の発見に貢献しました。